

ふらっとフットパス42（案）

富山に登り、下山後は麓の古代平群郡の役所（郡衙）跡、二部の勝善寺などを巡ります。

今回は、富山に登り、下山後は古代安房国平群郡の役所（郡衙）の想定地（吉沢地区の大折）や19世紀の狩野派画家：川名楽山の作品が残る二部の勝善寺などを巡ります。

1 期 日 平成29年9月22日（金）

22日（金）が雨天の場合は、23日（土）に延期します。

2 主 催 南房総市富山地域づくり協議会「ふらっと」

3 募 集 50人程度

4 集 合 富山学園（富山中学校）南側の市駐車場に午前8時50分まで

5 参加費 1,000円（昼食代、お土産代、保険代、資料代他）

6 持ち物 飲み物、保険証、雨具

7 コースと内容（約12km）

集合場所出発（9時） → 富山：伏姫籠穴コースから頂上へ →
頂上から吉井方面へ下山 → 吉沢地区の大折 →
吉井の農村公園（昼食・休憩） → 二部の勝善寺 →
市部バイパス（彼岸花を鑑賞） → 観音山の下経由 →
集合場所解散（3時頃の予定）

<参考>

集合場所 → 1km → 富山伏姫籠穴下駐車場 → 頂上経由 1.5時間 →
吉井ミカン狩り駐車場 → 1.4km → 吉沢地区の大折 → 1.1km →
吉井の農村公園（昼食・休憩） → 3.3km → 二部の勝善寺 → 1.5km →
富楽里 → 市部バイパス・観音山下経由 1.6km → 集合場所

8 申し込み及び問い合わせ先

南房総市富山地域づくり協議会「ふらっと」電話0470-57-3000

川名楽山

川名楽山は、安房郡沼村（館山市沼）の川名六左衛門の次男として、天保3（1832）年5月に生まれた。祖父は沼村の名主を務め、父は館山藩主稲葉正巳の信頼を得て、大坂在番の時には供をしている。

楽山は雅号で、名は敬信。後に敬事と改めた。幼い頃から絵を描くことが好きだった楽山は、江戸銀座役人の北川武八の嗣子となり、狩野派の絵師であった武八や同じ狩野派の絵師：岡島素岡に絵を学んだ。嘉永3（1850）年5月から9月にかけて、幕府御用絵師狩野探龍のもとで、幕府絵画方として日光東照宮の修繕にあたった。

翌嘉永4（1851）年6月、楽山は武八との縁組を解消して館山へ帰郷し、画学教授として館山藩へ仕官した。

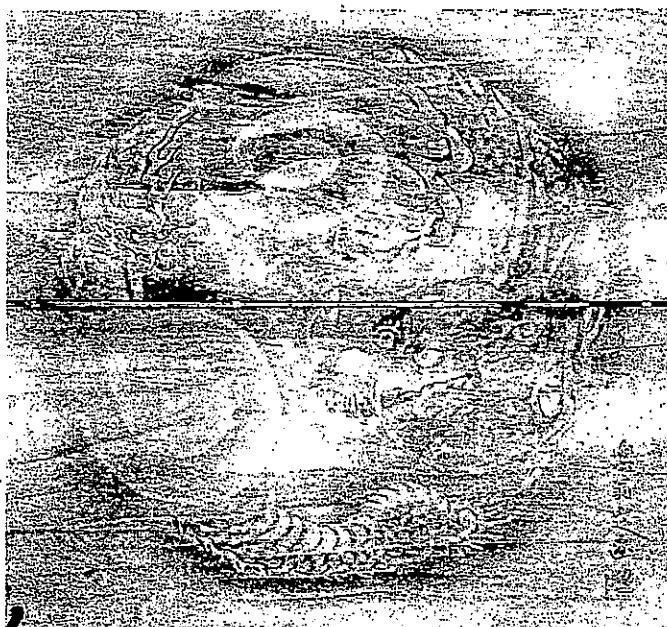
明治5（1872）年11月、楽山は神官へと転身し、官幣大社「安房神社」の權祿宣になつた。

楽山は、神職の傍ら、作画活動を精力的に進めていた。

明治25（1892）年10月21日に61歳で亡くなり、館山市上真倉の慈恩院に葬られた。

残されている作品には、花鳥画や肖像画の他、風景画、神仏画などがあり、桃の節句や端午の節句などの年中行事に用いる絵画も描いている。その他、内房地区の社寺の欄間や天井に「飛天図」や「龍図」が多くあり、外房地区の社寺には「絵馬」が残されている。

第6図 館山藩川名氏墓碑



18 雲龍図

明治19年(1886)
富山町二部 勝善寺



館山市上真倉慈恩院

<参考> 「安房の歴史」、「富山町史」、「川名楽山（館山市立博物館）」、
中学・高校の歴史教科書